



那須塩原市

市民活動センター通信

No.14

(2022年6月)

開館時間：月～土 9時～22時

※17時以降は会議室の事前予約があった場合のみ開館。窓口での相談業務及び印刷機等の使用のみの利用は出来ません。

日・祝 9時～17時

休館日：水曜日・年末年始（12/29～1/3）

〒329-3157 那須塩原市大原間西1-11-10

TEL 0287-73-5741

FAX 0287-73-5743

E-mail shiminkatsudou@city.nasushiobara.lg.jp

<https://www.city.nasushiobara.lg.jp/>

市民活動センター → 検索

「なすしおばら映像コンテスト'22」～笑顔を咲かそう みんなの力で～

《 募集期間 令和4年9月1日（木）～11月25日（金） 》

昨年、初めて実施しました「なすしおばら映像コンテスト」を今年度も実施します。

今回のテーマは【笑顔】です。地域の人たちとの交流や、様々な支援活動、子供たちとの遊びなどから生まれた「笑顔」の動画はもちろん、見ている方が「笑顔」になるような作品を募集します。

初心者にもわかりやすい「動画編集のワークショップ」も開催しますので、ぜひ参加して作品を応募してみませんか。



初めてでも安心！ 動画編集ワークショップ

☆最優秀賞
3万円相当の賞品
☆優秀賞
1万円相当の賞品
が貰えるよ！

【開催日程】第1回	7月10日・24日（日）	締切	7月5日（火）
第2回	8月7日・21日（日）	〃	8月2日（火）
第3回	9月3日・17日（土）	〃	8月29日（月）

各回とも時間は、13:30～15:30です。

- 講師：映像クリエイター 佐藤利行氏
- 定員：各回10名（申込順）定員になり次第締切
- 参加費：無料
- 場所：那須塩原市市民活動センター
*各回とも2日間コースとなります。2日とも参加できる方が対象です。
- 持ち物：お手持ちのスマホまたはタブレット
- 申込み：電話またはメールにて

「映像コンテスト'22」の
詳細・応募用紙はこちら
前回入賞作品映像もご覧
になれます。



《登録団体活動紹介》

アイサポート那須

2011・3・11の東日本大震災で、高齢者や障がい者の方々に必要な情報すら伝わらず、とても困難な被災避難状況であったことに対し、読み書き等の支援の動きが全国に広がりました。

こうした状況下、翌年3月に有志が集まり、日常的に必要な支援を行いながら、大災害発生時の迅速な支援につなげようと設立された会です。

会では毎月学習会など(第一土曜日、みるる)をしながら、高齢者や障がい者への読み書き支援の他、外出時のサポート、生活支援用品の紹介、音声パソコンサポート、“わいわい文庫”によるマルチメディアデジターの体験紹介や、他のボランティアグループと協力して、バリアフリー映画会の開催や交流イベントの実施など、楽しく活動しています。

新型コロナの関係でここ2年大きな集まりはできませんでしたが、今年こそとみんな楽しみにしています。会員を募集しています。関心のある方ならどなたでもOKです。

(高原山での交流会の様子)



東那須野地区「お互い様」があふれる会



(全体会での炊出し訓練)

この会は、東那須野の地域のことを東那須野の地域の皆さんや関係機関で話し合う為の3つの会議体を運営しています。

- ①地域ケア会議(地域課題の抽出と対策の検討)
- ②ネットワーク調整会議(地域活動団体の意見交換)
- ③全体会(防災をテーマとした地域住民参加型会議)。

そして、これらの会議体を総称して「わっしょい盛り上げ会議」と呼んでいます。東那須野を「『わっしょい!』と盛り上げていく会議」という意味です。企画・運営を行っているのは、地域の有志・市高齢福祉課・社会福祉協議会・地域包括支援センター(事務局)です。

会が発足したのは2018年4月ですが、地域の見守り活動での問題や悩みについての意見・情報交換の場として、2016年に開催したネットワーク調整会議が前身になっています。

様々な人々が様々な角度から東那須野の事を話すことで、東那須野が「お互いさま」であふれる地域になることを目指しています。

《新センター所長挨拶》

市民の皆様には、日頃より、「協働によるまちづくり」の推進のために、ご尽力、ご協力をいただきありがとうございます。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

さて、コロナ禍により「ヒト」が接する機会が大きく減少しています。普及が進んだ、授業や仕事の面で有効なツールであるオンラインは、感情表現やコミュニケーションを取る際に課題があるとも言われています。

“人間は感情の生き物”という言葉もあるように、リアルに会って、五感で情報を取り入れることで、お互いの考えを理解し合えたり、ストレス解消になることもあるでしょう。

世帯構造の変化や多様なライフスタイルにより、「つながり」が希薄化している今、人と人との交流によって自分の居場所や仲間を作り、精神的な豊かさを身につけることも大切です。

『市民活動』は、社会や地域の課題解決に向け、個人や団体の「交流・協働」によって、よりよい社会、暮らしやすいまちを創っていくもので、「市民活動センター」は、そういった活動に関する相談支援や事業実施のほか、交流の場を提供します。

これから、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、ますます「横のつながり」が重要になってくると思います。皆様には、今後とも変わらぬサポートをお願いするとともに、お気軽に当センターへお問い合わせ(&お立ち寄り)ください。

市民活動センター所長(市民協働推進課長兼務) 渡辺 直次郎